

Autonomous APでのMACアドレスフィルタの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、CLI を使用して、シスコのスタンドアロン アクセス ポイント (AC) に MAC アドレス フィルタを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する基本的な知識が推奨されます。

- Aironet AP および Aironet 802.11 a/b/g クライアント アダプタを使用する無線接続の設定。
- 認証方式

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

MAC アドレスのフィルタは、ユニキャストおよびマルチキャスト パケットの転送を制御する強力なツールです。GUI の MAC アドレスのフィルタを設定する方法の手順については、『Cisco

Aironet アクセス ポイント用の Cisco IOS ソフトウェア設定ガイド 12.3(2)JA』のセクション「[MAC アドレスのフィルタの設定と有効化](#)」を参照してください。

設定

CLI で MAC ベースの ACL をフィルタに掛けるには、次の手順を実行します。

1. CLI を使用して AP にログインします。
2. コンソール ポートまたは Telnet を使用して、イーサネット インターフェイスまたは無線 インターフェイス経由で ACL にアクセスします。
3. AP CLI でグローバル コンフィギュレーション モードを開始するには、次のコマンドを入力 します。

```
<#root>
```

```
AP#
```

```
configure terminal
```

4. MAC アドレスの ACL 701 を作成します。

```
<#root>
```

```
access-list 701 deny 0811.967e.c384 0000.0000.0000
```

注：このACLは、MACアドレス0811.967e.c384のクライアントとの間でやり取りされるすべてのトラフィックを拒否します。

5. 次のコマンドを入力して、この MAC ベースの ACL を無線インターフェイスに適用します。
。

```
<#root>
```

```
Config terminal
```

```
dot11 association mac-list 701
```

```
end
```

確認

このフィルタを AP に設定すると、この MAC アドレスを持つクライアントは、以前にその AP に関連付けられていても、関連付けが解除されます。AP のコンソールからは次のメッセージが送られます。

```
AccessPoint# *Aug 29 01:42:36.743: %DOT11-6-DISASSOC: Interface  
Dot11Radio0, Deauthenticating Station 0811.967e.c384
```

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。